

目 次

1. はじめに	1
2. 既往の関連研究と本研究の特徴	1
3. 既存モデルの概要	2
3.1 モデルの全体構成	2
3.2 荷主サブモデルの概要	2
3.3 外航船社サブモデルの概要	3
3.4 入力値の一部見直しとパラメータの再推定	4
4. モデルの拡張	6
4.1 荷主サブモデルにおけるネットワーク構成	6
4.2 東・東南アジア地域の陸上・フェリー輸送ネットワークにおけるコスト関数の設定	7
4.3 越境輸送抵抗の考慮	9
5. 入力データの準備と再現性の確認	11
5.1 海上輸送ネットワークの作成とパラメータ設定	11
5.2 陸上輸送ネットワークの作成とパラメータ設定	13
5.3 越境抵抗の設定	14
5.4 地域間OD貨物量の推計	14
5.5 モデルの現状再現性	16
6. 東・東南アジア地域における将来国際物流シミュレーション	20
6.1 将来シミュレーションの方法	20
6.2 将来地域間OD貨物量の推計	20
6.3 インフラ整備を考慮した将来ネットワークの作成	20
6.4 将来シミュレーションの結果	24
7. アセアン地域における物流施策評価	27
7.1 アセアン全域を対象とした評価	27
7.2 アセアン各国別の評価	31
8. おわりに	33
謝辞	33
参考文献	33
付表	35
付録A 東・東南アジア地域の国境地帯および物流インフラ主要プロジェクト現地調査の概要	91
付録B アセアン物流インフラ主要プロジェクトのアンケート調査用シート	120

